

<対策のポイント>

動物検疫体制を充実強化することにより、アフリカ豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病が我が国に侵入しないよう、水際措置に万全を期します。

<政策目標>

家畜の伝染性疾病の侵入防止の徹底

<事業内容>

<事業イメージ>

訪日外国人の大半を占める中国等のアジア地域では、一度まん延すると発生地域の社会・経済活動に大きな影響を及ぼし得る家畜の伝染性疾病であるアフリカ豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザの発生が継続的に報告されており、**我が国へのアフリカ豚熱等の家畜の伝染性疾病の侵入リスクに適切に対応**するため、動物検疫所は、以下のとおり**動物検疫体制の充実強化**に取り組みます。



<国際空港で活動する検疫探知犬>

家畜の伝染性疾病の侵入防止（事務費）

①動植物検疫探知犬140頭体制を維持し、国際郵便物や地方空港も含めた探知活動を充実させるとともに、②インターネットを活用した海外での情報発信、海外空港における周知強化等の入国者への動物検疫制度の周知・広報活動等を行います。



<国際郵便局で活動する検疫探知犬>

43 家畜伝染病・家畜衛生対策

<対策のポイント>

畜産振興、畜産物の安定供給等を図るため、家畜伝染病の発生等に関し緊急的に対応が必要なものについて、**家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染性疾病等の発生予防及びまん延防止対策の徹底**や、**獣医療提供体制の強化に対する対策**に取り組みます。

<事業目標>

- 家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止等による畜産業の生産基盤強化

<事業の内容>

<事業イメージ>

- 1. 家畜伝染病予防費** 5,194百万円
家畜伝染病予防法の規定に基づき、負担金・手当金等の交付を行います。
- 2. 家畜衛生の推進** 256百万円
家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止に向け、**離乳豚舎前室及び車両消毒エリアの整備、野生動物での豚熱・アフリカ豚熱の検査促進、検査に必要な機器及び病性鑑定施設の整備等**について支援します。
- 3. 野生動物アフリカ豚熱防疫体制構築事業** 37百万円
野生動物における家畜の伝染性疾病対策に必要な**人材の育成・強化**に取り組みとともに**登山等の一般の入山者への情報発信**を強化します。
- 4. 豚熱経口ワクチンの内製化支援** 48百万円
いのしし用**国産豚熱経口ワクチン**の早期現場実装に向け、**散布実証試験等**を実施します。また、飼養豚への早期応用に向け、**開発費**を支援します。
- 5. 産業動物遠隔診療の推進に対する支援** 56百万円
デジタル技術を活用して畜産業の生産基盤強化を図るため、**獣医療提供体制**の強化に向けて、**場所を選ばない迅速な診断**を可能とする**遠隔診療**を支援します。
- 6. 水際検疫対策等の強化** 19百万円
水際検疫対策等の強化のため、**動物検疫所への検査器具導入**等を行います。

1の事業

家畜伝染病予防費負担金	患畜処理手当等交付金
モニタリング検査、農場の立入検査、豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理指導等に要する経費	発生状況確認のための検査、家畜等の移動・搬出制限、患畜・疑似患畜の焼埋却、消毒ポイントの設置等に要する経費
発生予防	まん延防止

2の事業

豚熱、鳥インフルエンザを始めとする家畜や野生動物の伝染性疾病への対応





離乳豚舎前室の整備 車両消毒エリアの整備 野生動物の検査の促進

3の事業

- ・ 狩猟者や森林業者等との連携を図るための組織の構築。
- ・ 各地域で適切な死体の処理が行えるよう実地演習を実施。
- ・ 一般市民を対象としたプロモーションやリスクコミュニケーションを実施。

組織構築



実地演習



畜産関係 (生産者、飼料メーカー、獣医師等)

一般市民 (登山やハイキング等)

山林関係 (狩猟者や森林業者等)

4の事業

いのしし用国産豚熱経口ワクチン

散布実証試験 安全性試験 等の実施	承認申請に必要な有効性等を確認する試験などの開発費を支援
早期現場実装	飼養豚への早期応用

経口ワクチンの安定的かつ持続的な供給を実現 生産現場への負担軽減、動物への負担軽減

5の事業

遠隔診療



獣医さん 来るの遅い

遠方へ往診に行くのは時間がかかるなあ。

時間を食べません

様子を見せて下さい

時間・距離・人的資源の制約緩和

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 ¹⁰ (1、2、3、6の事業) 消費・安全局動物衛生課 (03-3502-5994)

(4、5の事業) 畜水産安全管理課 (03-6744-2103)